

NS-W01HP/SD/HK/M3 電話機

〔技術基準適合品〕

このたびはお買い求めいただき、ありがとうございました。  
取扱説明書をお読みいただき、お使いください。  
この「説明書」には、操作方法とあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しています。  
よくお読みの上、内容を理解してからお使いください。お読みになった後も、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

特	長
	○：機能有り －：機能無し

機能名	機能説明	機種名			
		HP	SD	HK	M3
ダイヤル	ダイヤルはプッシュ式でダイヤル回線、プッシュ回線のいずれにも使用できます。	－	○	○	○
シグナルチェンジ機能	ダイヤル回線でも、プッシュ信号による各種サービスが受けられます。	－	○	○	○
着信音	軽やかな電子音で２段階の音量に切り替えられます。	○	○	○	○
ハンドセット受話音量	受話音量を２段階に調節することができます。	○	○	○	○
オートダイヤル機能	登録しておいた相手の方の電話番号をワンタッチで自動的にダイヤルすることができます。	－	－	－	○
フッキング機能	フッキングで転送できるPBX内線に使用する場合、転送が容易です。	－	－	○	－

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取り下さい。

F-5825-1  
920160A1

仕 様

回線種別	PB／DP（20PPS）切替式
直流抵抗	約290Ω
質 量	約0.5 kg
寸 法	幅 60mm×高さ 77mm×奥行 218mm
使用電源	・局/PBX ・リチウム電池（型名：CR2032）※ ※W01M3のみ内蔵

☆次のものが添付されていることを確認してください。

品 名	数 量
壁掛け金具	1
φ3.8×16木ネジ	2
φ4×40Sナベネジ	2
電話機コード	1
取扱説明書	1

工事される方へ

- 電話機の底面にある“DP／PB”切替スイッチで、回線種別を替えることができます。（出荷時はPBに設定してあります。）
- 電話回線に初めて接続した時は内部回路を安定させる為に必ずハンドセットを一度上げて発信音を確認してください。
- W01M3電話機はメモリバックアップ用リチウム電池を内蔵しています。回線を接続（給電）する直前に、“電池”切替スイッチを“ON”にしてください。リチウム電池は消耗品ですが通常のご使用では電池交換の必要はありません。ただし電話機を長期保管する際は、“電池”切替スイッチを“OFF”にして保管してください。（この場合オートダイヤルボタンに登録した番号はしばらくすると消えます。）“電池”切替スイッチを“ON”にした状態で回線に未接続（未給電）の場合は、電池寿命を縮める要因となります。
- ボタン電話回線に誤接続すると電話機が故障する場合があります。
- 本電話機は卓上設置時も壁掛け金具により固定して使用してください。
- 2台以上接続した場合、回線の条件によって、ブランチ接続された電話機でダイヤルしたり、この電話機をダイヤルするとこの電話機のベルが鳴ることがあります。その際は、電話機の底面にある“着信感度”切替スイッチをONにしてください。
- ハンドセットコードは、電話機底面にあるコード溝に通してご使用ください。

NAKAYO

安全にお使いいただくために必ずお守りください

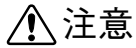


警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電話機の異常状態にお気づきのときは、すぐに電話機コードを抜き、販売店に修理をご依頼ください。

- ① 電話機に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- ② 電話機の上やそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ③ 電話機を調理台やふろ場や加湿器のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ④ 電話機を絶対に分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- ⑤ 煙の発生、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ⑥ 落下等で破損したままで使用しないでください。火災・感電の原因となります。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

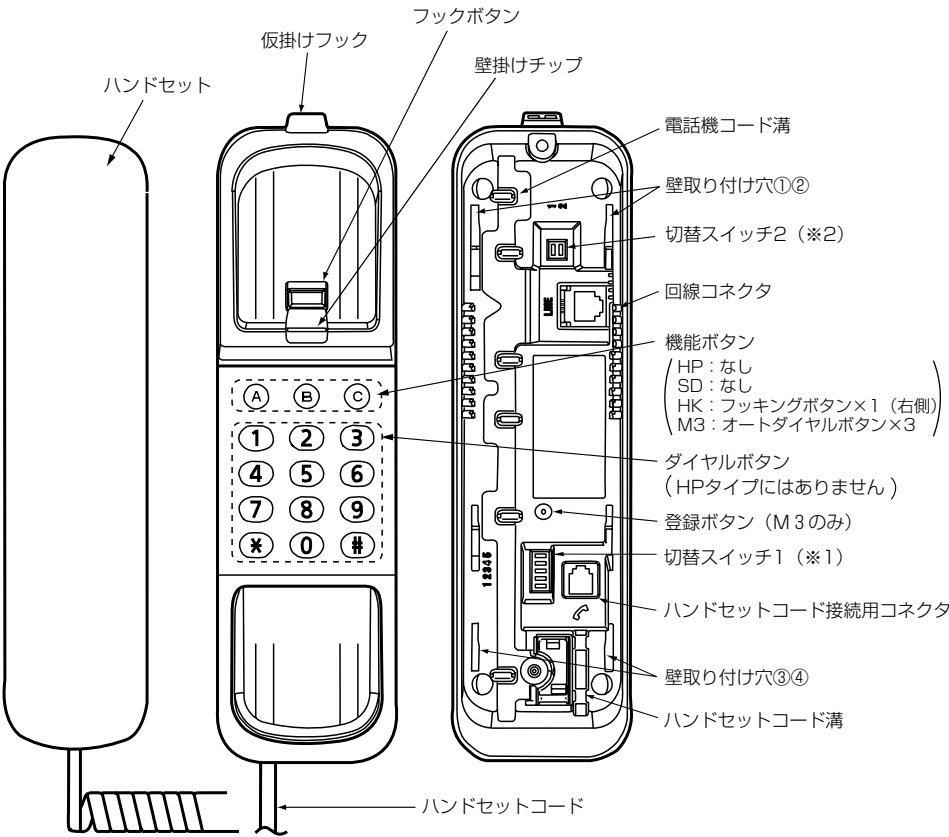
- ① 電話機を壁掛用に取り付ける場合は、電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。（薄いペニヤ板や、やわらかい壁などに取り付けしないでください。）
- ② 電話機を熱器具に近づけないでください。電話機コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ③ 電話機を直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

おねがい


誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

- ① 電話機は、次のような場所への設置は避けてください。故障・誤動作の原因となります。
  - ・ちり・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
  - ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
  - ・テレビ・ラジオ・電気こたつ・蛍光灯・アンプ・スピーカボックス・電子レンジ・電気カーペットの上や、家庭電化製品のそばなどで磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所及び高周波ウェルダや電気溶接機の近く。やむをえず設置する場合は、最低2m以上離してください。
  - ・衝撃・振動のある場所。
- ② 机や椅子で電話機コードを踏みつけたりすると電話機が使えなくなるなどの障害が発生するので、机の移動などには十分注意してください。万一、障害が発生した場合は販売店までご連絡ください。
- ③ 硫化水素の発生する場所（温泉地など）や塩分の多いところ（海岸など）でお使いのときは、電話機の寿命が短くなることがあります。
- ④ 電話機を落としたり、強い衝撃及び振動を与えないでください。故障・誤動作の原因となります。
- ⑤ 道路に近くてCB無線が混入する場合、または放送局のアンテナに近くて雑音が入る場合は、販売店にご相談ください。
- ⑥ 電話機をベンジン・シンナー・アルコール・石油・熱湯などで絶対にふかないでください。変色や故障の原因となります。布等でからぶきしてください。

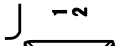
各 部 の 名 称



※ 1 切替スイッチ 1

切替スイッチ 1	<div><div>12345</div><div></div></div>	スイッチ位置	1	2	3	4	5
			受話音量	PBX/CO	電池	空き	DP/PB
		上側	大	PBX	ON	－	DP
		下側	標準	CO	OFF	－	PB

※ 2 切替スイッチ 2

切替スイッチ2		スイッチ位置	1	2
			着信音量	着信感度
		上側	大	OFF
		下側	小	ON

## 使用上の注意

- 共同電話・公衆電話にはご使用になれません。
- ダイヤルしたとき、ブランチ接続した他の電話機のベル音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- 通話しないときは、ハンドセットを確実に置いてください。かけ忘れたり、ハンドセットの下にコードや物がはさまっていると、通話料金が加算されたり、着信があってもベルが鳴らず、他の通話のさまたげとなることがあります。
- 本電話機と他の電話機とでブランチ通話のときは、電話機の種類や電話局からの距離によって通話ができなくなることがあります。その際は片方ハンドセットをおろしてください。通話ができるようになります。
- 電池実装機種の場合、ブランチ接続している一方の電話機が通話中に本電話機のハンドセットを上げると電池を消費してしまう場合があります。
- ハンドセットの送話口は口の正面にくるように持ってご使用ください。

## 電話をかけるとき

- ①ハンドセットをとり“ツー”という発信音を聞いてから、相手の方の電話番号をダイヤルします。
- ②相手が出たら、お話しください。

## シグナルチェンジのしかた

ダイヤル信号（DP）でお使いの時に、“\*”ボタンを押すと、ダイヤル信号からプッシュ信号に変わりますので、銀行の残高照会などのプッシュ信号による各種サービスが受けられて便利です。

ハンドセットを置くと自動的にダイヤル信号にもどります。

（プッシュ回線をお使いのときは、上記操作は不要です。）

## 電話がかかってきたとき

外から電話がかかってくると“ルルル……”という着信音が聞こえます。ハンドセットをとってお話しください。

## 着信音量をかえたいとき

電話機の底面にある“着信音量”切替スイッチで着信音を、2段階に替えることができます。

## 受話音量をかえたいとき

電話機の底面にある“受話音量”切替スイッチでハンドセットの受話音量を2段階に替えることができます。

## 側音の調節

構内交換機によっては、側音が大きくなる場合があります。その際は、電話機の底面にある“PBX／CO”切替スイッチをPBX側に切り替えてお使いください。

〔側音が小さくなります。〕

## 相手に待ってもらうとき

通話中に相手に待ってもらうとき、ハンドセット受話口下の溝を仮掛けフックに引っ掛けることができます。

## フッキングボタンの使いかた（W01HKのみ）

フッキングボタンを押すと(押ししている時間に関係なく)約600mSだけ回線を切断します。転送機能等をフッキングで行うPBXの内線電話機として使いますと、確実なフッキングができるので便利です。

## オートダイヤルの登録のしかた（W01M3のみ）

- ①ハンドセットを外しフックボタンを手で抑えて、電話機底面の登録ボタンを0.5秒以上長押しします。「ピッ」という登録モード移行確認音がハンドセットから鳴ります。（登録ボタンは、先の細いもので登録モード移行確認音が聞こえるまで押し込んでください）
- ②相手の方の電話番号をダイヤルします。（32桁まで）
- ③登録したいオートダイヤルボタンを押します。「ピー」という登録完了音が鳴ります。（オートダイヤルA、B、Cの3ヶ所に登録できます）
- ④登録完了です。

【ご注意】

オートダイヤル登録時の注意点

- 登録作業は必ず回線に接続した状態で行ってください。回線に接続し、通電させ回路を安定させてからでないと、登録ボタンが効かないことがあります。
- 登録中に間違えたときは、フックボタンをいったん上げ、再び押してから、再度、上記操作を行ってください。
- 連続して登録する場合には①～③を繰り返してください。
- 一度登録した番号を変更したいときは、再度、登録操作を行ってください。前の番号が消え、新しい番号が登録されます。
- 登録データを消去したいときは、②の操作を省略してください。
- オートダイヤルに登録できるダイヤル桁数は最大32桁です。33桁以上押した場合は「ピピピピッ」とエラー音がハンドセットより鳴ります。
- 登録ボタンを押して約10秒間何もしないと、「ピピピピッ」とエラー音がハンドセットより鳴ります。登録を行う場合は再度①より操作をしてください。

【オートダイヤルに登録できるもの】


回線種別“PB”：0～9、\*、#

回線種別“DP”：0～9、\*（シグナルチェンジ）

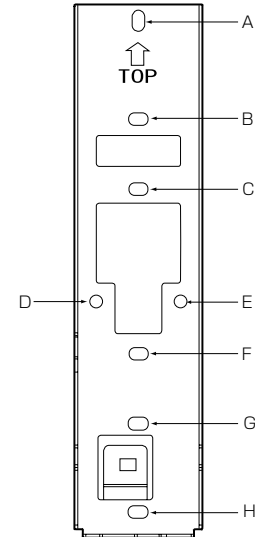
## オートダイヤルで電話をかけるとき（W01M3のみ）

- ①ハンドセットをとり“ツー”という発信音を聞いてから、登録しておいたオートダイヤルボタン（A、B、C）を押します。
- ②相手が出たら、お話しください。

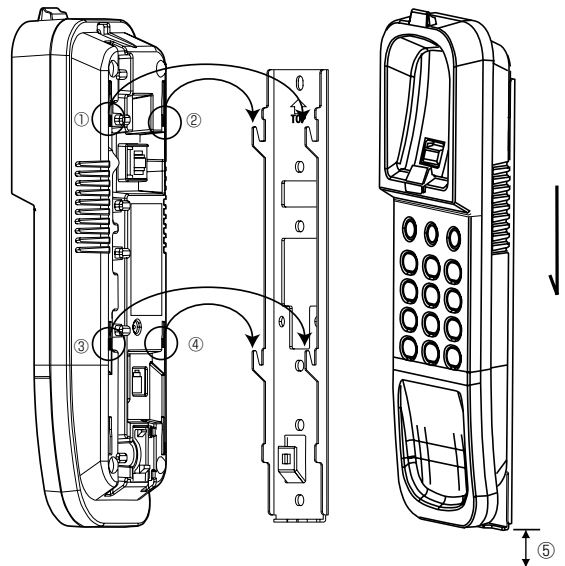
## 電話機の壁掛け金具への取り付け方法

- ①柱か壁に取り付ける場合は、木ネジでぐらつかない様、垂直にしっかり固定してください。取り付け向きは、と書いてある矢印の方を上にして、2箇所固定します。また、スイッチボックスに取り付ける場合ナベネジで固定してください。
- 【ご注意】
- ネジを強く締めすぎると変形し、電話機が取り付けられなくなりますのでご注意ください。
  - 電話機の下側に取り外しできる様に、約30cm以上のスペース（図の⑤）をとってください。スペースが少ないと電話機の取り外しができなくなります。
- ②電話機の壁取り付け穴①②③④を壁掛け金具のツメ部分（4箇所）に差し込み、矢印の方向へ下げてください。
- 【ご注意】
- 電話機コード及びハンドセットコードは電話機底面のコード溝に挿入固定してください。
  - 電話機と壁との隙間が大きい場合は、ツメ部に完全に引っ掛かっていることを再確認してください。

【壁掛け金具穴位置寸法】



【電話機の取り付け方】

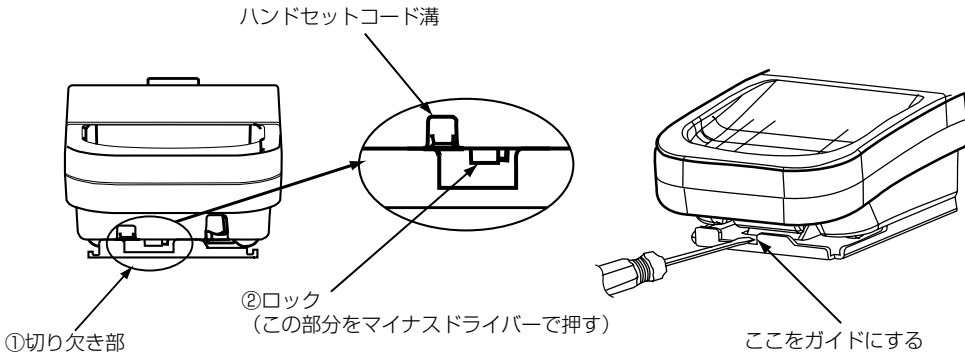


壁掛け金具を取り付ける場合は、下表を参考にして取り付け穴位置を選択してください。

穴位置	寸法	備考	穴位置	寸法	備考
A-H	175mm	その他	C-H	115mm	その他
B-F	83.5mm	スイッチボックス等	C-D-E	40mm	C-DとC-E
C-G	83.5mm	スイッチボックス等		30mm	D-E
A-F	142.5mm	その他			

## 電話機を壁掛け金具から取り外す方法

- ①マイナスドライバーを壁掛け金具の下側にある切り欠き部右端（下図の①）から挿入し、ロックにつきあたるまで差し込みます。
  - ②ロックにあたると壁掛け金具から電話機が外れます。電話機を押し上げて取り外します。
- 【ご注意】
- マイナスドライバーは先端の幅6mm程度のものを使用してください。



## 電話機の卓上設置方法

卓上で使用する場合は、電話機を壁に取り付けるときと同様に壁掛け金具で固定して壁掛けチップを外してください。

【壁掛けチップの取り外しかた】

- ①傷がつかないようにマイナスドライバーの先端を布等で覆って保護します。
- ②右図の矢印の方向に壁掛けチップを強く押して取り外します。

【ご注意】

- 取り外した壁掛けチップは再使用できません。

